

事務事業名		雇用促進奨励支援事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間			
	施策名	24 雇用の創出と安定						
	基本事業名	02 雇用の拡大と企業誘致の推進			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成15 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令								
所 属	部課名	商工観光部商工観光物産課					予算科目 会計 款 項 目 事業 01 05 01 01 09	
	係 名	労政係	電話	27-3111				
		内線	113					
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市内に住所のある新規卒者等を市内事業所に常用雇用者として6ヶ月以上雇用した事業主に奨励金を交付する事業。1人雇用した場合は10万円、2人以上雇用した場合は20万円を支給する事業。(1事業主につき、20万円を限度とする。)市内中学校を卒業し、市外の高校を卒業して市内企業に就職した場合も含む。 主な業務は、新規卒者等を雇用した事業所を大船渡公共職業安定所に照会する。(年度初めと、以降は2ヶ月に一度) で把握した事業所へ申請書を郵送する。事業所からの申請受付、審査、補助金交付。求人開拓の企業訪問時に、チラシによる制度PR。大船渡商工会議所発行の広報紙への制度周知記事掲載。 事業費は、交付決定した事業所へ補助金として支出される。					全体計画 (期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
						人件費	事業費計 (A) 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	0 0 0
						トータルコスト(A) + (B)		0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 事業内容郵送件数	件
新規卒者等を対象に求人提出した事業所を安定所に照会。該当予定企業への申請書の郵送、電話照会への対応。求人開拓の企業訪問時に、事業のチラシによる説明。大船渡商工会議所発行の広報紙への制度周知記事掲載。申請書の受理、補助金の交付。		イ 奨励金支給事業所数	企業
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
平成21年度と同様。		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	単位
市内に事業所のある企業。 平成17・18年度の数値は、平成16年度に簡易調査したもの(統計書より)		カ 市内事業所数	事業所
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
市内に事業所のある企業の若年者の求人意欲を高め、地元出身の若年者の採用者数を増やす。 スの指標 = 管内に就職内定した人数 / 管内に就職を希望していた人数 / 100(確定は平成22年5月)		ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
就労しやすくなる		名称	単位
		サ 交付企業における新規高卒者採用数	人
		シ 気仙管内に就職内定した管内新規高卒者数	人
		ス 気仙管内の新規高卒者の管内の就職内定率	%

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業内訳	財源	単位	年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
				単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
	事業費	国庫支出金	千 円							
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円		3,100	1,700	2,050	3,000	3,800	2,700
		事業費計 (A)	千 円		3,100	1,700	2,050	3,000	3,800	2,700
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間		120	120	120	120	120	120
		人件費計 (B)	千 円		480	480	480	480	480	480
		トータルコスト(A) + (B)	千 円		3,580	2,180	2,530	3,480	4,280	3,180
活動指標	ア	件			44	36	26	27	25	33
		企業			31	17	19	20	25	18
		ウ								
対象指標	カ	事業所			2,793	2,793	2,747	2,500	2,500	2,500
		キ								
		ク								
成果指標	サ	人			51	39	32	38	31	55
		シ	人		64	61	67	71	71	70
		ス	%		97	98.4	97.1	95.9	98.7	81.3

事務事業ID	0396	事務事業名	雇用促進奨励支援事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 全国的な雇用情勢の悪化、当地域における新規高卒者の就職状況の悪化、隣接市における類似施策の実施などを考慮し、総合発展計画における主要施策とされ、平成15年度より開始。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成15年度より開始した事業であるが、雇用情勢は少しずつ回復傾向にあったが、全国的な景気低迷及び雇用失業情勢の悪化を背景に、製造業の求人数が落ち込んだ。このため、他都道府県あるいは県内陸部への就職希望者が、管内事業所へ変更する等、管内希望者間での競争も激化した。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 地元企業の若年者の求人意欲を高めることは、雇用安定の一助となる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 本来、雇用の安定化は国で行うべきものであったが、改正により、市町村が関与しなくなることになったため、雇用情勢が悪い段階では、求人意欲を喚起することについて手を引くことは出来ない。
	対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 適切である [理由] 毎年、地元若年者の採用をしている企業や補助金でも求人意欲の喚起の見込めない企業(例えば、規模の大きい企業など)は、対象からはずすといった検討の余地はある。 しかしながら、現在は1事業主における採用者は多くはないので、新規高卒者を多く雇用する事業所については、奨励金を増額することとしたい。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] さらなるPRと企業訪問によるPRの実施。企業訪問については、安定所等を含めた合同の求人活動に参加しPRすることや、市広報、しおさい(中小企業特別対策室会議広報誌)への記事掲載、新聞への記事提供等、あらゆる情報への対応を図るべき。また、補助金が本当に企業の若年者採用意欲を喚起することにどれだけ貢献できるかについては、今後の状況を見たい。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 平成15年度より開始し、平成17年度で終了するかどうか検討したが、平成18年3月・平成19年3月の新規高卒者の求人状況は依然として厳しい状況であったことから、平成18年度も引き続き実施することとし、平成19年度、20年度と2年連続して奨励金の額を拡大して実施した。雇用失業情勢の悪化から、平成21年度は対象範囲を拡大して実施するが、今後の求人動向を見ながら、廃止等の検討をしていく必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 就職ガイダンス、求人拡大要請、企業立地の雇用奨励金制度等 ☒ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 企業立地の雇用奨励金と対象が重なる可能性があり、この場合に限り統合を検討する余地がある。 ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 対象の絞込みにより事業費を削減できる可能性がある。1企業において、1人採用した場合は10万円としているのは、新規学卒者等一人あたりの事業主負担の社会保険料を支援しようとしたものであり、これを少なくすることは事業主の採用意欲に少なからず影響はあるものと考える。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 奨励金であるため、受益者負担は発生しない。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	0396	事務事業名	雇用促進奨励支援事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成20年度は、2人以上採用した場合は、10万円を加算することとした結果、10事業所に20万円に交付した。																															
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																															
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☒ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 平成21年度は、対象範囲を大学、専修学校等の新規卒卒者及びU・I・ターン者まで拡大することとしたので、対象範囲の拡大が、求人意欲を喚起することによってどれだけ効果があるかについても継続的に監視していく。		☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上			●																													
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																	

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	商工観光物産課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 事業の意図等が的確に把握されており、適切な評価となっている。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり										
目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)																						
<table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☒ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・補助金交付対象事業所について、見直しの検討が必要と思われる。 ・新たに雇用意欲のでる小規模事業所に対する周知が必要と思われる。		☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)															
☐ 廃止	☐ 休止	☒ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●	○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●	○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
